

飛鳥資料館来館450万人達成

2009年11月11日に、飛鳥資料館開館以来の来館者数が、450万人に達しました。飛鳥資料館は、1975年3月に奈良国立文化財研究所（当時）の研究発表の場として、また飛鳥の文化を広く紹介する資料館として開館いたしました。それ以来、35年で450万人達成ですので、年間平均13万人ほどになり、これまで多くの方々にご来場いただきました。

この450万人達成に際して、飛鳥資料館ロビーにおいて記念イベントをおこなうことになりました。記念すべき450万人目の来館者は、修学旅行で飛鳥資料館を訪れていた、学習院女子高等学校の皆様でした。生徒さんの代表と校長先生に、くす玉を割っていただき、記念の品を贈呈いたしました。

また、今年の5月には当館においてキトラ古墳壁画四神の公開という大きなイベントが控えています。公開期間中には、たいへん多くの方々のご来館が予想されます。少しでも多くの方々に楽しんでいただけるよう、よりよい展示を考えているところです。来館450万人という、数字に甘んじることなく、さらに多くの方々にお越しただけ

るよう、学芸室一同気を引き締めて、ご満足いただける展示企画にあたっているところです。

（飛鳥資料館 成田 聖）



校長先生と生徒代表